

# Tmab単独療法Tri weekly

【対象症例】

再発・転移性乳癌  
乳癌における術前・術後

【登録診療科】 乳腺外科

## 【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
①	トラスツズマブ	*1	*2	day1
	生理食塩水	250mL		
②	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1
*1 初回投与時、8mg/kg(体重) 2回目以降は6mg/kg(体重)				
*2 初回投与時、90分、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮可能				
【投与スケジュール】 1コース 21日間				

# Tmab単独療法Tri weekly(乳腺)

【対象症例】 再発・転移性乳癌

【登録診療科】 乳腺外科

乳癌における術前・術後

## 【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
①	トラスツズマブ	*1	*2	day1
	生理食塩水	250mL		
②	生理食塩水	50mL	フラッシュ	day1

\*1 初回投与時、8mg/kg(体重) 2回目以降は6mg/kg(体重)

\*2 初回投与時、90分、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮可能

【投与スケジュール】 1クール 21日間

## 【禁忌】(必ず確認してください)

・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

## 【原則禁忌】

・重篤な心障害のある患者

## 【休薬・中止規定】

・初回投与時に生命を脅かすInfusion reaction等の重篤な副作用が発現した場合は、直ちに投与を中止し、投与を再開しない

## 【減量基準】

なし

## 【注意事項】

- ・Infusion reaction対策のため投与開始後から1時間は頻回にバイタルサン(血圧、脈拍数)のモニタリングを行うなど、患者の状態を十分に観察する。特に投与開始～24時間以内に多く発現する。
- ・血液毒性があってもTmab単独であれば投与可能
- ・投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は改めて初回量を投与すること。
- ・Tmab投与中あるいは投与後の病態が進行した場合でも、Tmabは継続し、併用する抗がん薬を変更することがある
- ・調整時には日局注射用水あるいは日局生理食塩液以外は使用しない
- ・術前。術後ではTmabを1年以上投与しても効果の上乗せはなく、心機能障害が増加する
- ・ブドウ糖溶液と混和するとタンパク凝集が起こるため、ブドウ糖溶液との混合を避ける
- ・インフュージョンリアクションが発現した場合はトラスツズマブを中止し、その後も投与はしないこと
- ・Tmab投与前に、心機能検査(心エコー、MUGAスキャン)を行うこと(心機能検査は投与前に実施すること)
- ・心機能は通常12週ごとに検査する。無症候性心機能障害患者は6～8週ごとに検査する
- ・心エコー又はMUGAスキャンで測定した投与前のLVEFが50%以上であること。50%未満の症例での安全性は確認されていない

## 【患者の緊急受診(連絡)事項】

- ・38℃以上の発熱
- ・食欲不振が長く続くとき
- ・以前より息切れがひどい時
- ・1日3～4回の下痢
- ・長く続く空咳とひどい息切れ
- ・歩いていて心臓ドキドキするとき
- ・身の回りのことができない程の倦怠感
- ・急な嘔気・嘔吐

## 【緊急時連絡先】イムス三芳総合病院(夜間:緊急連絡先、日中:外科外来)

GradeはCTCAE v 4.0に準ずる

プロトコル開始年月日

2018年02月20日

プロトコル責任者

乳腺外科 木田 孝志